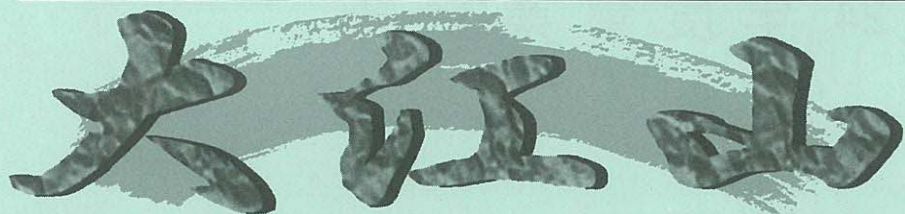


コミュニティ協議会広報誌



No.12号

発行人：熊倉宗衛
新潟市江口3220-1
平成24年7月発行

二十三年度決算

コミュニティ協議会の決算総会が四月二十七日に開催され、二十三年度の事業報告と決算が承認されました。予算総会は五月三十日に開催され、二十四年度の事業計画と予算案を決定しました。また、任期満了に伴う役員の改選を行いました。以下、その概要を報告いたします。

収 入

項 目	決算額	説 明
繰越金	409,323	前年度繰越金
市助成金	265,530	古紙収集活動支援金
市助成金	381,000	運営費 153,000 地域活動費 228,000
会費等	71,023	決算会費、預金利息
合計	1,126,876	

支 出

項 目	決算額	説 明
運 営 費	318,065	物品購入・印刷製本他 153,198 食糧費・旅費等 164,867
事 業 費	413,221	縄文市開催事業 253,973 お早う朝ごはん料理講習会 41,648 各種団体助成 117,600
合計	731,286	
繰越金 収入 1,126,876 - 支出 731,286 = 395,590		

二十四年度役員

監 会 事 務 局 長
事 計 長

副 会 長
会 長

近 中 山 星 山 星 熊
川 崎 山 崎 山 倉
澄 金 和 和 宗
雄 充 鷄 男 明 男 衛

収 入

項 目	予算額	説 明
繰越金	395,590	前年度繰越金
市助成金	250,000	古紙収集支援金
市助成金	573,000	運営費 20万 地域活動補助金 お早う朝ごはん、 縄文市他 373,000
会費等	70,410	
合計	1,289,000	

支 出

項 目	予算額	説 明
運 営 費	381,000	物品購入印刷費他
事 業 費	655,000	地域活動費 水と土芸術祭鑑賞事業 102,000 夏っ子ひろば事業 43,000 お早う朝ごはん事業 60,000 縄文市事業 250,000 各部会活動支援金 200,000
予 備 費	253,000	
合計	1,289,000	

二十四年度予算

24年度事業計画

事業実施の方針

- 1 コミュニティ協議会の活動拠点施設について、要望活動を展開していく。
- 2 中学生の通学バスの運行について検討する。(特に冬期間)
- 3 各種構成団体などの事業支援を行う。
- 4 水と土の芸術祭作品見学会を実施する。

主な年間スケジュール

- 4月 (地域の茶の間事業) 4月から翌年3月まで大江山荘、大淵荘で開催する。
- 5月 合同部会、理事会、総会で部会の活動方針、役員を選出、23年度事業・決算報告及び24年度事業計画と予算の審議
- 6月 (総務部会) 広報誌の発行
- 8月 夏っこひろばの開催
- 9月 (教育文化部会) お早う朝ごはん料理講習会を大淵、丸山小学校区で開催
- 10月 大江山縄文市の開催
- 11月 (地域づくり部会) 大江山文化とスポーツの祭典

大江山地区住民バスの補助金実績について (報告)

大江山地区には、現在3路線のバスが運行されています。

この運行路線の収支率に応じて、大江山地区バス運営委員会に市から補助金が支払われています。

23年度の補助金の実績は次に示す通りです。

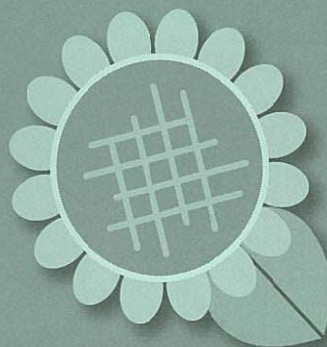
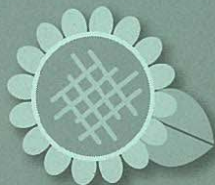
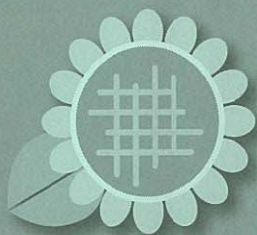
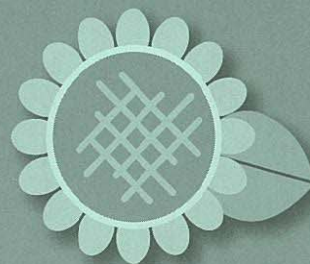
● 一日市経由	新潟～一日市～大江山連絡所	826,271円
● 東明経由	新潟～東明～大江山連絡所	494,276円
● 鶺ノ子経由	駅南口～鶺ノ子～大江山連絡所	4,368,271円

このように多額の補助金が投入されていますが、収支率が30%を割るようだと超地域の負担が増えます。バス利用に協力くださるようお願いいたします。

(総務・バス運営部会)

大江山のお茶の間の様子

今年で5年目を迎えました。大勢参加し、みなさん楽しんでいます。



活動拠点施設の建設要望の状況

当協議会では平成十八年の発足当時から活動拠点施設の建設を市に要望してきました。

また、平成二十一年二月には江南区自治協議会長名で地域コミュニティ協議会の活動拠点施設の整備について要望書が出されております。

市では新潟市の合併建設計画を優先的課題としてとらえ旧新潟市の建設事業には予算が振り向けられなかった経緯がありました。

しかしながら昨年新区長懇談会では次のような回答を得ました。

一、必要な施設と思う。合併建設計画が優先されるためすぐには要望にこたえられないが二十七年度以降に具体的な提案を願う。

二、何をどうしたい、そのためにはこれくらいの規模のものが必要との具体的な事項を地域でまとめて行政に示して欲しい。

この回答を受け、二十七年度までに活動拠点施設建設の提案を行うため、二十四年度から次のように取り組んでいきます。

●活動拠点施設の位置、機能、用途、規模の検討。

（多目的ホールや会議室・学習室等を備えた公民館的機能、図書館機能等の内容）

●コミ協の理事会等で検討を進めます。

●市の担当主管課との協議を進める。

また、検討の内容につきましては随時お知らせいたします。皆様のご意見等お待ちしております。



○ポスト合併建設計画

合併建設五カ年計画の次期計画に対する地のまちづくり提案が求められています。いまから取り組みが必要かと思えます。

○今年度からまた「新たに夏つ子ひろば」という事業がコミ協事業となりました。今年度は市から地域活動補助金を受ける事業は運営費補助を含めて五事業となります。

